ご利用規則

ホテルの公共性とお客様に安全かつ快適にお過ごしいただくため、宿泊約款第10条に基づいて下記のお利用規則を定めておりますので、遵守して頂きますようお願い申しabove上げます。この規則をお守りいただけないときは、ご宿泊またはホテル内諸施設のご利用をお断り申しあげ、かつ責任をおとりいただくことも ございます。

安全と保安上お守りいただきたいことについて

1. 客室内で、放事得などの賭興をご使用にならないでください。
2. ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙はならないでください。
3. 花火、爆竹、ローソクなど、火災の原因となるような物品をご使用にならないでください。
4. 客室からの避難経路図は各客室ドア内側に表示しておりますのでご確認ください。
5. ご滞在中、お部屋から出られるときは、施錠をご確認ください。（トイレを除めると自動的に施錠がかかります。）
6. ご在室中、特にご就寝中の時は、ドアの内鍵とドアフックをお掛けください。外出等でやつむことは、不用意な来訪者などなどにドアフックを掛けたまま就寝されるか、ドアスコープでご確認ください。万一、不審者と思われる場合は直ちにフロントへご連絡ください。
7. ご来訪者と客室内でのご宿泊はご遠慮ください。
8. 到着時にご宿泊者の方名、住所、電話番号、職業及び随事項の記入をお願いいたします。

貴重品について

現金・貴重品の保管は、客室内に備えつけの金庫をご利用いただきますようお願いいたします。客室での現金・貴重品の紛失に関しては、ホテルは責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お預かり品について

原則として、お預かりした荷物や、お忘れ物は、特にご指定のないかぎり、預かり日を含めて7日間保管し、その後法令の定める手続を経ないで処分します。

お支払いについて

1. 都合によりご到着の際、当ホテルが定めるお預り金（前金）を申し受けることがございますので、了承ください。
2. ご滞在中、フロントから勘定書の提示がございましたら、その都度、お支払いください。
3. 旅行小切手以外の小切手によるお支払いおよび両替は、固くお断りいたします。
4. 航空機、列車、遊覧バスなどの切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物運付などのお立替はお断りいたします。

ご利用規則

預り品規定

1. （適用）
   宿泊約款第15条の規定に基づき当ホテルは、当ホテルの宿泊客に限り、本規定の定めるところにより、物品、手荷物等をお預り致します。

2. （お預り期間）
   (1) お預り期間は、当ホテルがお預り品をお預りした日からお受取りご指定日までとします。
   (2) お受取りご指定日は、当ホテルがお預り品をお預りした日から30日以内に限ります。
   (3) 受取り日のご指定がない場合は、お預り期間はお預りの日から30日間とします。

3. （お預り品）
   現金、宝石、貴重品、危険物、腐敗あるいは破損しやすいもの、動植物、傷害を受けやすい学毛、毛皮製品等はお預りできません。

4. （お受取り人）
   お預り品のお受取人は、お預けのご依頼人又はその方がお受取人として指定された者で者とします。

5. （お受取り人の確認）
   お受取り人又は権限を与えられた第三者は、お預り品のお受取りを請求なされる際、当ホテル台帳の者にお預り証をご提示ください。お受取り人がお預けのご依頼人によって指定された第三者の場合は、お預り証のご提示は不要ですが、正当なお受取り人であることをホテルの方にご提示を求めることがあります。特典は相応の注意をもってお受取り人の同一性を確認し、お預り品をお渡しします。しかし場合、当ホテルはお預かり品に関しての責任を免れるものとします。

6. （損害の賠償）
   (1) 一般に不可抗力とされている事由によるお預り品の紛失、き損、変質、その他の損害に対しては、当ホテルはその責任を負いません。
   (2) お預り品のき損、変質その他損害人の責めに帰すべき事由により当ホテル又は第三者が損害を受けたときは、その損害を賠償していただきます。

7. （お預り品処分）
   (1) お預り期間終了後7日以内にお預り品のお受取りがない場合は、当ホテルはお預り品を任意売却の措置をし、一般的に適当と認められる方法により処分できるものとします。かかる処分が困難な場合、当ホテルは当該お預り品を廃棄することができるものとします。
   (2) 前項の処分に要する費用はご依頼人の負担とします。ただし、処分によって得られた代金は、処分の費用に充当することができるものとします。

8. （緊急措置）
   当ホテルは、次のような事態が生じたときは、臨機の措置をとることができるものとします。
   (a) 官公庁機関の要求によりお預り品の開披を求められたとき。
   (b) 火災、お預り品の異変、その他緊急を要すると認められたとき。

9. （正文）
   本規定は日本語と英語で作成されますが、両文の間に不一致又は相違があるときは、すべて日本文を正文とします。

10. （管轄及び準拠法）
    本規定に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

以上

ご利用規則

おやめいただきたい事について

1. ホテル内に禁止のお客様の迷惑になるようなものをお持込めにならないでください。
   a. 犬、猫、小鳥、その他の動物ペット類全般（補助犬は除く）
   b. 発火または引火しやすい火薬や揮発油類および危険性のある製品
   c. 凶器を疑するもの
   d. 許可証のない銃砲、刀剣類
   e. 著しく多量な物品
   f. その他当ホテルが禁止を禁げられているもの
2. ホテル内で、暗雪や風紀、治安を乱すような行為、喪声、放歌、乱舞泥酔などで他のお客様に迷惑になったり、嫌悪感を与えるような行為はなさらないでください。
3. 客室やロビーでの営業行為、また事務所など、宿泊以外の目的にご使用にならないでください。
4. 予約またはチェックインの際にお客様からお申し出いただいてない方は、客室内へ立ち入りをご遠慮願います。
5. ホテル内で広告、宣伝物を配付、駐布したり、物品の販売等をしないでください。
6. ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外に、また現状を著しく変更して利用しならないでください。
7. ホテルの外観を損なうようなものを室に掛けたり、室側に陳列しないでください。
8. はビーサン裸などに市内会を放置しないでください。またメリケパ、下駄の着用はご遠慮ください。
9. ホテル外から飲食物のご注文をなさらないでください。
10. パジャマ、スリッパで館下、ロビー、レストラン、バーなど客室以外の施設にはお立ちにならないでください。
11. 緊急事態、あるいはやむを得ない事情が発生しないかぎり、非常階段、屋上、塔屋、機械室などの施設には立ち入らないでください。
12. 未成年者のみのご宿泊は、特に保護者の許可がないかぎりお断りいたします。
13. 不可抗力以外の事由により、構造物、備品、その他ホテルの物品を損傷、汚染あるいは紛失させた場合、相当額を弁償していただく事があります。
14. 客室内より外線直通お電話をご利用の際は、実施利用料が加算されます。なお、公衆電話は、1Fにございますのでご利用ください。

禁煙室に関するポリシー

当ホテルは、客室での喫煙を固くお断りしております。
喫煙されるお客様のご要望にお応えして、ホテル館内に所定の喫煙エリアを設けておりますので、お問い合せくださいませ。
客室において喫煙（吸殻含む）が確認された場合は、客室を余儀なく禁煙技術に依復するため客室のクリーニング代を申し受けます。
お客様のご理解とご協力をお願い致します。

Non Smoking Room

We offer completely non-smoking environment to our guests.
Therefore, please note that all the guests room have been designated as non-smoking.
According to smoking needs, we provide a smoking area on 16 th floor.
In case that we find any smoking trace at our guest room, the room cleaning charge will be applied to your hotel bill.
Thank you for your understanding and cooperation.

支配人
Manager